

県立淡路三原高等学校

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/awajimihara-hs/NC3/>



〒656-0461 南あわじ市市門行寺 345-1

Tel (0799) 42-0048

FAX (0799) 42-0313

淡路交通バス「市(いち)」停留所で下車、南へ 600m

スクールポリシー

◆グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）

- ①自己の可能性を最大限に伸ばし、自らの目標に向け能動的に取り組むことができる生徒を育てる。
- ②体験を通して豊かな人間関係を構築する中で、自己の有用感を自覚し、共生の心と自律の心を持った生徒を育てる。
- ③ふるさとの自然や伝統を愛する心を持ち、地域社会の発展に貢献し、国際的な視野にたって活躍できる生徒を育てる。

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ①各教科における基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるために、少人数指導、習熟度別授業、同室複数指導等を行う。
- ②生徒の多様な進路希望に対応するため、幅広い選択科目から柔軟な選択履修ができる教育課程を編成する。
- ③大学等の教育機関と連携しながら、探究活動や教科横断的な学習を行い、より深く高度な学びを実践する。
- ④地域や行政・関連機関との連携を強化し、地域の魅力・課題を発見するとともに、社会とのつながりを意識し、課題解決に積極的に取り組む力を育成する。
- ⑤英語教育の充実と異文化理解の推進を図り、地域の特色を生かした国際交流を展開する。

◆アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- ①学習活動に真摯に取り組む、主体的に課題解決に取り組むことができる生徒を募集する。
- ②他者を尊重する態度を持ち、多様な価値観を認め行動することができる生徒を募集する。
- ③自らの将来に対して目標を明確に持ち、目標達成に向け積極的に取り組むことができる生徒を募集する。

学校のあゆみ

平成19年4月、県立三原高等学校と県立志知高等学校の発展的統合により「淡路三原高等学校」が開校、同時に「サイエンスコース」を設置。創立18年目。令和7年度より「サイエンスコース」を改編し、新学科「文理探究科」を設置。

校章の3つの葉と波は「知育」「徳育」「体育」を象徴している。

設置課程・学科

全日制 200名（5クラス）

●推薦入学（2月）：文理探究科40名（1クラス）

●複数志願（3月）：普通科 160名（4クラス）

特色（主な行事等）

【特色】

文部科学省「新時代に対応した高等学校普通科改革支援事業」の指定を受け、大学や専門機関、企業などとの連携を深め、探究活動をより積極的に推進するとともに、幅広い進路希望に対応できるカリキュラムを編成し、生徒の夢の実現を目指します。

【主な行事】

- 6月 文化祭
- 8月 オープンハイスクール、文理探究科体験、探究ツアー
- 9月 体育会（大久保踊り披露）
- 2月 修学旅行（2学年・北海道でのスキー実習）
- 2月 歌声のつどい

部活動

【運動部】

陸上競技、卓球、バスケットボール、ソフトボール、ソフトテニス、野球、サッカー、バレーボール、柔道、水泳、剣道

【総務部・文化部】

メディア総合、吹奏楽、ボランティア同好会、放送、自然科学、書道、食物、美術、郷土、茶華道、ダンス、和太鼓

中学生へのメッセージ

- ◎「挑戦・変化・進化」をキーワードに、知・徳・体のバランスがとれた文武両道の教育を実践し、地域・社会の発展に寄与できる人づくりを目標にしています。多くの生徒が進学を目指す中、生徒の自主性を大切にしたい学校行事や部活動で人間力を磨くとともに、人形浄瑠璃や大久保踊りなど地域の伝統文化の継承に努め、地域愛を育んでいます。
- ◎文理探究科では各教科の基礎・基本事項をもとに、物事を多角的・複合的に考え抜く姿勢を重視しています。また、高大連携事業や企業訪問等を通して実験、実習やキャリア教育を行い、応用力や探究力を身に付けます。
- ◎普通科では2学年より「アカデミア類型」「キャリア類型」に分かれ、それぞれの進路希望に応じた教育課程で学びます。
- ◎伝統ある部活動や学校行事を体験し、多くの先輩方のように将来日本各地や世界で活躍できるような人間力を身に付けましょう！

初年度にかかる諸費用

・入学時にかかる諸費用

約16万円・・・入学時一括納入金、教科書、制服等、タブレット

・毎月の諸費（授業料を除く）

約1万円・・・学年費、修学旅行積立、生徒会費等